

岡崎市水道・下水道事業会計

カンタン解説！決算書の読み方



目次

はじめに	3
------------	---

1章 決算書類って何がある？

主な決算書類、決算附属書類の種類	4
------------------------	---

2章 決算書から分かるコト

2-1 決算書から知りたいコトって？	5
2-2 事業報告書から何が分かる？－経営状況－	6～8
2-3 損益計算書から何が分かる？－黒字・赤字－	9
2-4 損益計算書から何が分かる？－減価償却費・長期前受金戻入－ ...	10
2-5 貸借対照表から何が分かる？－資産の数、お金の集め方－	11
2-6 貸借対照表から何が分かる？－経営の安定性・安全性－	12
2-7 キャッシュ・フロー計算書から何が分かる？－現金の増減－ ...	13

用語解説	14～15
------------	-------



決算書とは？

岡崎市の水道・下水道事業では公営企業会計を採用しています。
公営企業会計では民間企業のように複式簿記を使い記帳を行います。それを取りまとめたものが「決算書」です。
決算書は、4月1日から翌年3月31日までの1年間の経営成績と財務状況をいくつかの決算書類で表しています。



この冊子では水道・下水道事業の決算書のうち、
特に読んでほしいところをやさしく解説するよ！

岡崎市上下水道局マスコットキャラクター
スイットくん

決算書と照らし合わせて読むと理解が進みそうね。
まず、決算書類ついて簡単に紹介していくね！



岡崎市上下水道局マスコットキャラクター
スイートちゃん

1章 決算書類って何がある？

主な決算書類、決算附属書類の種類

名 称	説 明	解説ページ
事業報告書	決算年度における水道事業・下水道事業の 経営実績の概要 に関する報告書	6～8ページ

財務三表

損益計算書	会計年度期間中（1年間）の 経営成績 を明らかにするため、全ての収益と費用を記載し、収益から費用を差し引いた損益（利益又は損失）を表示した報告書	9～10ページ
たいしゃくたいしょうひょう 貸借対照表	年度末時点の 財政状態 を明らかにするため、全ての資産・負債及び資本を表示した報告書	11～12ページ
キャッシュ・フロー 計算書	会計年度期間中（1年間）の 資金の収入・支出に関する情報 を3つの活動区分別に表示した報告書	13ページ



この冊子では、事業報告書と財務三表について詳しく解説するよ。

2章 決算書から分かるコト

2-1 決算書から知りたいコトって？



みんなが一番気になるのは、
水道・下水道事業の経営状況がどうなのかだよね！



経営状況を知るには、**事業報告書**と
財務三表と呼ばれる

- ①**損益計算書** ②**貸借対照表**
- ③**キャッシュ・フロー計算書**

をチェックしてね。
次に、各書類から何が分かるか紹介するね！



2章 決算書から分かるコト

2-2 事業報告書から何が分かる？



事業報告書からは、決算年度の主な事業や
経営状況が分かるよ。

“事業の概況”を見れば、その年の取り組みや
メイン事業、業務や経営状況が分かるよ。

水道の事業報告書は、最新の決算書P18～19

下水道の事業報告書は、最新の決算書P78～80を確認してね！

総括事項

水道・下水道事業の
その年の取り組みが分かる！

業務状況

有収水量などの業務量を
昨年度と比較して分析！

建設改良の状況

その年の
メイン事業が分かる！

経営状況

収益的収支や資本的収支の
状況を昨年度と比較して分析！

1 事業の概況

(1) 総括事項

水道事業は市民の日常生活を支える重要な役割を担っており、安全な水道水の安定供給に努めるとともに、災害時におけるライフラインとしての機能向上を図るため、耐震化事業や施設更新事業など水道施設の強化に取り組んできました。

本年度も、「上下水道新時代 暮らしを守る 次の100年へ」を基本理念とし、令和3年度から令和12年度までを計画期間とする「岡崎市上下水道ビジョン」に基づき、計画的かつ効率的な事業運営に取り組みました。

水道事業については、人口減少や節水型機器の普及等により料金収入の減少が見込まれることから、安定した経営を維持していくため、収入の根幹を成す水道料金について、令和7年10月1日に平均改定率9.7%の増額を実施しました。

また、岡崎市の中心に位置する甲山にそびえたち、地域のランドマークにもなっている六供配水場の配水塔と旧ポンプ室が、令和7年9月に日本国内の歴史的な土木構造物の保存を目的に創立された公益社団法人土木学会の土木遺産に認定されました。

ア 業務状況

本年度末の給水戸数は、173,515戸で前年度と比べ1,863戸増加し、給水人口は1,228人減の380,122人となり、普及率は、市の人口380,391人に対して99.93% (0.01ポイント増) となりました。

年間総配水量は、40,007,600m³で前年度と比べ120,736m³減少し、年間有収水量は179,515m³減の39,206,163m³となりました。その結果、有収率は98.00%となり、前年度(98.15%)を0.15ポイント下回りました。

イ 建設改良の状況

本年度は、前年度から引き続き、重要給水施設への水道管路耐震化工事、耐震性の低い老朽管をダクタイル鋳鉄管に更新する布設替工事を実施しました。

施設更新事業では、額田南部浄水場設備更新工事、井沢浄水場電気設備更新工事、雨山浄水場薬注設備更新工事等を実施しました。

ウ 経営状況

本年度の経営状況は、営業収益の給水収益等及び営業外収益の受取利息等の増により、収益全体では173,909,985円(消費税及び地方消費税抜、以下「税抜」という。)増収(2.33%増)の7,636,400,875円(税抜)となりました。

費用につきましては、配水及び給水費及び減価償却費等は増となったものの、総係費及び資産減耗費等の減により、60,722,166円減(0.87%減)となる6,935,121,279円(税抜)で、当年度純利益は701,279,596円(税抜)となり、234,632,151円の増益(50.28%増)決算となりました。

2章 決算書から分かるコト

2-2 事業報告書から何が分かる？（水道の経営指標）



事業報告書の経営指標を見れば、
収益性、健全性、効率性、老朽化の度合いが分かるよ。
このページでは、水道の経営指標の説明をするよ。

水道の事業報告書は、最新の決算書P18～35を確認してね！

①経常収支比率とは？ 経常収支比率：経常収益÷経常費用×100

経営の健全性が分かる！
経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示している。数値が100%を超えていれば毎年の収入で費用を賄える状態。

②料金回収率とは？ 料金回収率：供給単価÷給水原価×100

料金水準の妥当性が分かる！
水道水をお届けするための費用が、水道料金収入でどれだけ賄われているかを示している。数値が100%を超えていれば、水道料金収入で費用を賄えている状態。

経営指標の推移

	R●	R●	R●	R●	R●
①経常収支比率	109.24%	111.61%	111.41%	106.78%	110.14%
②料金回収率	95.22%	96.77%	105.57%	100.38%	103.88%
③有形固定資産減価償却率	41.09%	41.99%	43.13%	43.72%	44.57%
④管路経年化率	20.12%	21.13%	22.79%	22.13%	25.30%
⑤管路更新率	0.86%	0.86%	0.74%	0.87%	0.66%

③有形固定資産減価償却率とは？

有形固定資産減価償却率：有形固定資産減価償却累計額÷有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿減価×100

償却対象資産の減価償却の状況が分かる！
有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示している。
数値が100%に近いほど、老朽化が進んでいることを示す。

かんろ
④管路経年化率とは？ 管路経年化率：法定耐用年数を経過した管路延長÷管路延長×100

管の老朽化具合が分かる！
数値が高いほど、法定耐用年数を経過した水道管を多く保有しており、管路の改築等の必要性を推測することができる。

⑤管路更新率とは？ 管路更新率：当該年度に更新した管路延長÷管路延長×100

管路の更新ペースが分かる！
当該年度に更新した水道管の割合を示しており、管路の更新ペースや状況を把握できる。

2-2 事業報告書から何が分かる？（下水道の経営指標）



このページでは、下水道の経営指標を説明するね。
事業報告書では他にも色々な情報を掲載してるよ！

下水道の事業報告書は、最新の決算書P78～95を確認してね！

①経常収支比率とは？ $\text{経常収支比率} = \text{経常収益} \div \text{経常費用} \times 100$

経営の健全性が分かる！
経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示している。数値が100%を超えていれば毎年の収入で費用を賄える状態。

②経費回収率とは？ $\text{経費回収率} = \text{使用料単価} \div \text{汚水処理原価} \times 100$

料金水準の妥当性が分かる！
使用料で回収すべき経費が、どの程度使用料で賄われているかを示している。数値が100%を超えていれば、使用料収入で経費を賄えている状態。

経営指標の推移

	R●	R●	R●	R●	R●
①経常収支比率	104.73%	104.15%	100.31%	98.51%	97.34%
②経費回収率	102.20%	100.39%	92.50%	90.82%	87.89%
③有形固定資産減価償却率	22.72%	23.47%	25.58%	26.95%	28.82%
④管渠老朽化率	4.77%	5.49%	6.09%	6.11%	6.93%
⑤管渠改善率	0.50%	0.47%	0.44%	0.32%	0.37%

③有形固定資産減価償却率とは？

$\text{有形固定資産減価償却率} = \text{有形固定資産減価償却累計額} \div \text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿減価} \times 100$

償却対象資産の減価償却の状況が分かる！
有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示している。
数値が100%に近いほど、老朽化が進んでいることを示す。

かんきょ
④管渠老朽化率とは？ $\text{管渠老朽化率} = \text{法定耐用年数を経過した管渠延長} \div \text{下水道布設延長} \times 100$

管の老朽化具合が分かる！
数値が高いほど、法定耐用年数を経過した下水道管を多く保有しており、管渠の改築等の必要性を推測することができる。

⑤管渠改善率とは？ $\text{管渠改善率} = \text{改善（更新・改良・維持）管渠延長} \div \text{下水道布設延長} \times 100$

管渠の更新ペースが分かる！
当該年度に更新した管渠延長の割合を示しており、管渠の更新ペースや状況を把握できる。

2章 決算書から分かるコト

2-3 損益計算書から何が分かる？



損益計算書からは**黒字か赤字か**が分かるよ！

水道：最新の決算書P10～11
下水道：最新の決算書P70～71を
確認してね！

損益計算書からは、どのような経営活動に
よって、どれだけの経営成績を上げたのか
が分かるんだね～。



令和●年度岡崎市水道事業損益計算書
(令和●年4月1日から令和●年3月31日まで)

(単位 円)

1	営業収益			
(1)	給水収益	6,301,585,133		
(2)	受託工事収益	3,379,939		
(3)	その他営業収益	242,370,125	6,547,335,197	
2	営業費用			
(1)	原水及び浄水費	2,272,256,462		
(2)	配水及び給水費	749,181,901		
(3)	受託工事費	7,860,507		
(4)	業務費	398,928,238		
(5)	総係費	220,246,309		
(6)	減価償却費	2,973,607,823		
(7)	資産減耗費	145,211,110	6,767,292,350	
	営業損失			219,957,153
3	営業外収益			
(1)	受取利息及び配当金	70,249,104		
(2)	他会計負担金	34,560,507		
(3)	長期前受金戻入	858,596,136		
(4)	資本費繰入収益	91,315,501		
(5)	雑収益	32,572,989		
(6)	引当金戻入益	905,832	1,088,200,069	
4	営業外費用			
(1)	支払利息及び企業債取扱諸費	150,337,348		
(2)	雑支出	14,846,670	165,184,018	923,016,051
	経常利益			703,058,898
5	特別利益			
(1)	固定資産売却益	0		
(2)	過年度損益修正益	865,609	865,609	
6	特別損失			
(1)	過年度損益修正損	2,618,117		
(2)	その他特別損失	26,794	2,644,911	△ 1,779,302
	当年度純利益			701,279,596
	前年度繰越利益剰余金			0
	その他処分利益剰余金変動額			500,000,000
	当年度未処分利益剰余金			1,201,279,596

①営業損益

本業による損益が分かる！
本業の損益の結果を示している。
本業の損益がプラスの場合は「営業利益」、
マイナスの場合は「営業損失」になる。

= 営業収益 - 営業費用

②経常損益

経営活動から生じた損益が分かる！
本業に関する損益に加えて、国や県の補助金、
一般会計からの繰入金による収入等に関する
損益の結果を示している。

= 営業損益 + 営業外利益 - 営業外費用

③当年度純損益

最終的な損益が分かる！
1年間の全ての損益の結果を示している。
黒字の場合は「当年度純利益」、
赤字の場合は「当年度純損失」になる。

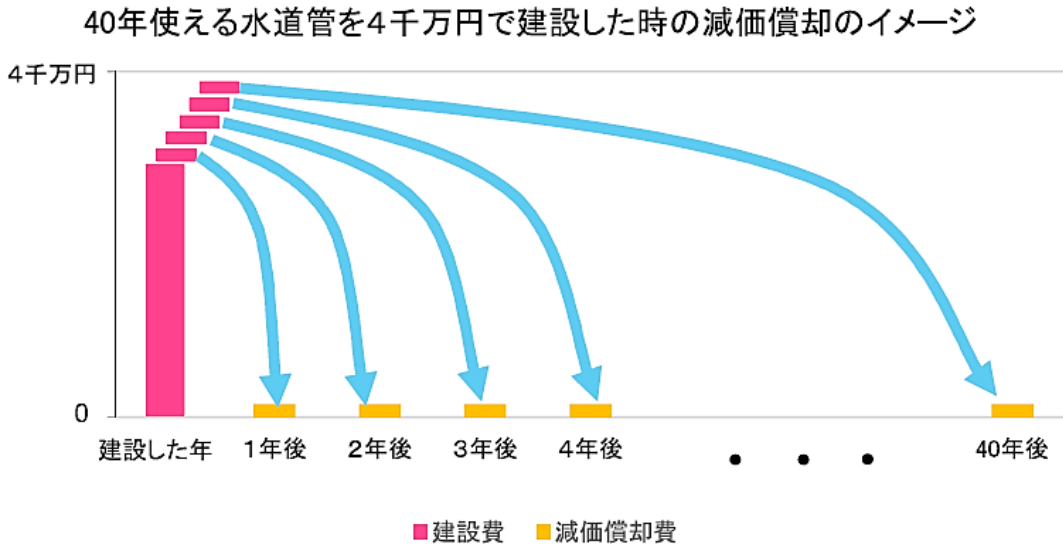
= 経常損益 + 特別利益 - 特別損失

2章 決算書から分かるコト

2-4 損益計算書から何が分かる？



ここでは、損益計算書の中でも理解が難しい
減価償却費と**長期前受金戻入**について
説明するよ！右の表を見てみてね！



建設した年に4千万円は支払っているけど、損益計算書では
40年かけて少しずつ費用としているのね。これが**減価償却費**だね。
水道管などの施設は長い間使えるから作った年に全額を費用にせず、
その施設が使える年数で少しずつ費用にする必要があるんだね。
その年に現金で支払ったものが全て載っているわけではないよ！



長期前受金戻入は、この収益バージョンだよ。
水道・下水道事業は補助金などを建設費に充てているけど、
その補助金は施設が使える年数に合わせて収益にしていくなだよ！

2章 決算書から分かるコト

2-5 貸借対照表から何が分かる？

令和●年度岡崎市水道事業貸借対照表
(令和●年3月31日)

【資産の部】			金額(円)	【負債の部】			金額(円)										
固	定	資	産	78,022,171,084	固	定	負	債	13,090,918,101								
	有	形	固	定	資	産	77,116,830,275	企	業	債	12,214,163,797						
	土			地	3,457,536,581	引			当	金	876,754,304						
	建			物	4,226,095,765	流			動	負	債	4,047,697,000					
	構			築	物	110,381,815,245	企			業	債	1,290,496,397					
	機	械	及	び	装	置	14,094,605,963	リ	ー	ス	債	務	0				
	車	両	運	搬	具	101,125,491	未			払	金	2,282,894,987					
	工	具	器	具	及	び	備	品	103,793,376	前			受	金	1,655,500		
	リ	ー	ス	資	産	2,620,000	引			当	金	76,350,000					
	減	価	償	却	累	計	額	△	56,363,446,377	そ	の	他	流	動	負	債	396,300,116
	建	設	仮	勘	定	1,112,684,231	繰			延	収	益	21,007,801,006				
	無	形	固	定	資	産	5,340,809	長			期	前	受	金	36,866,704,591		
ソ	フ	ト	ウ	ェ	ア	5,340,809	収			益	化	累	計	額	△	15,858,903,585	
投	資	そ	の	他	の	資	産	900,000,000	負			債	合	計	38,146,416,107		
投	資	有	価	証	券	900,000,000	【資本の部】			金額(円)							
流	動	資	産	14,154,273,094	資	本	金	51,365,330,340	剩			余	金	2,664,697,731			
現	金	預	金	12,303,577,323	資	本	剩	余	金	398,050,286							
未		収	金	1,527,525,486	利			益	剩	余	金	2,266,647,445					
貸	倒	引	当	金	△	2,523,737	資	本	合	計	54,030,028,071						
貯	蔵	品	42,200,022														
前	払	金	283,494,000														
資	産	合	計	92,176,444,178	負	債	資	本	合	計	92,176,444,178						

【資産の部】
資産は、企業が所有する財産。
固定資産と流動資産に分かれる。

【負債の部】
負債は、企業債に代表されるように、今後返済が必要となるお金。
繰延収益は、資産の取得時に補助金等のもらったお金で今後見合ったサービスを提供しないとイケないもの。

【資本の部】
資本は、資本金や事業で獲得してきた利益など、返済が不要なお金。

貸借対照表からは、
資産の中身や財源が分かるよ！

水道：最新の決算書P15～17
下水道：最新の決算書P75～77を確認してね！

【資産の部】を見れば、
所有している資産の種類と残高が
分かり、【負債の部】と【資本の部】
を見れば、資産を取得した時の
財源が分かるんだね～。

Point
資産の合計額 = 負債の合計額 + 資本の合計額

2章 決算書から分かるコト

2-6 貸借対照表から何が分かる？



貸借対照表からは、
経営の安定性や**安全性**も分かるよ！
それが分かる経営指標について紹介するね。

流動比率（％）

$$= \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$$

経営の安全性が分かる！

短期債務に対する支払能力を表す。
200％以上が理想的で、指標が高いほど短期的な債務に対する支払能力があると言える。

自己資本構成比率（％）

$$= (\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}) \div \text{負債資本合計} \times 100$$

経営の安定性が分かる！

総資本に対する自己資本の割合であり、経年比較や類似団体と比較し、指数が高いほど経営の安全性が高いと言える。



下水道事業は、
流動比率が低いけど大丈夫？

下水道事業は使用料収入で行う污水处理以外に、岡崎市の税金を使って浸水対策をしているよ。浸水対策のために借りた企業債のうち、翌年に返済するお金は流動負債になるけど、そのお金は返済する時に岡崎市からもらえるから、流動比率は低くても、安全に経営できるんだよ。



岡崎市は給水人口規模が、比較的大きな市だよ。
給水人口規模が大きな事業ほど、大きい施設を建設する必要があるなど、多額のお金が必要となるから、自己資本構成比率は、低くなる傾向があるよ。



2章 決算書から分かるコト

2-7 キャッシュ・フロー計算書から何が分かる？

キャッシュ・フロー計算書からは、
現金が増えたか減ったかが分かるよ！



水道：最新の決算書P15～17
下水道：最新の決算書P75～77を
確認してね！

資金増加額（又は減少額）を見れば、
その年に現金が増えたか、減ったかが
分かるんだね。計算書の読み方について
詳しくは下表をチェックしてみてね！



キャッシュ・フロー計算書の読み方の例

	業務活動	投資活動	財務活動	概要
パターン1	プラス	マイナス(Δ)	マイナス(Δ)	本業の業績は概ね良好であり、有利子負債残高を減少させつつ建設改良に係る投資も実施しているため、比較的良好な経営状態にあると考えられる。
パターン2	プラス	マイナス(Δ)	プラス	本業の業績は概ね良好であるが、建設改良に係る投資財源を有利子負債に依存し、かつその残高が増加しているため、今後の返済負担増加が想定される。
パターン3	マイナス(Δ)	マイナス(Δ)	プラス	本業の業績が厳しく、建設改良に係る投資財源に加え、日常の運転資金も有利子負債に依存している可能性があるなど、資金繰りが非常にタイトになっていると想定される。

令和●年度 岡崎市水道事業キャッシュ・フロー計算書
(令和●年4月1日から令和●年3月31日まで)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー		(単位 円)
当年度純利益	701,279,596	
減価償却費	2,973,607,823	
固定資産除却費	79,289,852	
退職給付引当金の増減額(Δは減少)	9,518,042	
賞与等引当金の増減額(Δは減少)	3,590,000	
貸倒引当金の増減額(Δは減少)	1,687	
長期前受金戻入額	Δ 858,596,136	
資本費繰入収益	Δ 91,315,501	
受取利息及び受取配当金	Δ 70,249,104	
支払利息	150,337,348	
有形固定資産売却損益(Δは益)	26,794	
未収金の増減額(Δは増加)	4,784,678	
未払金の増減額(Δは減少)	Δ 59,675,479	
前払金の増減額(Δは増加)	Δ 48,852,340	
前受金の増減額(Δは減少)	3,355,704	
その他流動負債の増減額(Δは減少)	75,319,207	
たな卸資産の増減額(Δは増加)	Δ 5,015,784	
小計	2,867,406,387	
利息及び配当金の受取額	70,249,104	
利息の支払額	Δ 150,337,348	
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,787,318,143	
2 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	Δ 3,437,441,872	
有形固定資産の売却による収入	36,306	
投資有価証券の取得による支出	Δ 200,000,000	
工事負担金による収入	183,013,419	
分担金による収入	194,389,800	
他会計負担金による収入	140,364,793	
県補助金による収入	183,014,301	
投資活動によるキャッシュ・フロー	Δ 2,936,623,253	
3 財務活動によるキャッシュ・フロー		
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	300,000,000	
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	Δ 1,290,496,397	
一般会計からの出資による収入	443,206,678	
財務活動によるキャッシュ・フロー	Δ 547,289,719	
資金増加額(又は減少額)	Δ 696,594,829	
資金期首残高	12,303,577,323	
資金期末残高	11,606,982,494	

業務活動によるキャッシュ・フロー
本来の営業活動で資金を稼げて
いるかを表している。
事業を続けるためには、本来の
営業活動で得たお金で、施設や管路
の維持管理・更新をしていく必要が
あり、そのためには、必ずプラス
にならないといけない。

投資活動によるキャッシュ・フロー
施設の更新等、設備投資にどれだけ
資金を使ったかを表している。
施設の更新を行えば、必ずマイナス
となるが、その規模が重要である。

財務活動によるキャッシュ・フロー
借入と返済のどちらを多くしたかを
表している。
水道・下水道事業では、水道料金・
下水道使用料に加え、企業債等のお
金を借りて施設の更新を行っている。
借りた額よりも返す額が多ければ
プラスに、借りた額より返す額が
少なければ、マイナスになる。

用語解説①

用 語	説 明	関係書類
収益的収支	経営活動に伴って発生する全ての収益と費用を表す。 水道事業でいうと、水道料金や維持管理費などがこれに含まれる。	決算報告書
資本的収支	収益や費用に関係ない、資本や負債に関わるお金の流れ。 例えば、資産となりうる施設の建設や、企業債の元金償還などが資本的収支に含まれる。	決算報告書
しさんげんもうひ 資産減耗費	固定資産や在庫（たな卸資産）の価値が減ったときに、その分を費用として記録するお金のこと。	損益計算書
過年度損益 修正益（損）	過年度の未計上収益や費用を今年度の特別利益または（特別損失）として計上するときの勘定科目。	損益計算書
未処分利益 剰余金	前年度からの繰越利益に当年度の純利益を加減した、まだ使い道が決まっていない利益の合計額。	剰余金計算書
流動資産	1年以内など、比較的短い期間で現金にすることができる資産のこと。 現金や普通預金、未収金、短期貸付金などがある。	貸借対照表
流動負債	企業の本業に関わって生じた支払債務や、1年以内に支払わなければならない債務のこと。	貸借対照表
企業債	地方公営企業が行う建設改良事業等に要する資金に充てるために起こす地方債のこと。	貸借対照表

※緑色：水道・下水道共通、水色：水道、黄色：下水道

用 語	説 明	関係書類
引当金	将来発生する費用や損失に備えるために、あらかじめ準備しておくもの。貸倒引当金や賞与引当金など、様々な勘定科目がある。	貸借対照表
かんろ 管路	浄水場で作られたきれいな水を届けるための、地下に埋められた水道管のこと。	事業報告書
かんきょ 管渠	家庭や工場から汚水や雨水を集めて、下水処理場まで運ぶための地下に埋められた下水道管のこと。	事業報告書
配水量	浄水場などから各家庭や事業所へ向けて配水管に送り出された水量のこと。	事業報告書
有収水量	料金徴収の対象となった水量のこと。	事業報告書
汚水処理水量	下水道処理場などの汚水処理施設において、実際に処理される汚水の総量のこと。	事業報告書
分担金	新たに水道を引く場合など、建設費の一部を負担していただくためのお金のこと。	キャッシュ・フロー計算書
受益者負担金	新たに下水道を整備した際、その地区に土地を持っている人に建設費の一部を負担していただくためのお金のこと。	キャッシュ・フロー計算書

※緑色：水道・下水道共通、水色：水道、黄色：下水道